



学校だより

ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>

令和 2年 1月 7日

横浜市立釜利谷南小学校

1月号

校長 田中 さくら



迎春

校長 田中 さくら

穏やかな初日の出とともに令和2年、新年が明けました。今年もよろしくお願ひいたします。

皆様、令和初のお正月はいかがお過ごしになりましたでしょうか。今年は、天候もよく暖かく、毎年完全に防寒対策をして出かける初詣に、手袋やマフラーを忘れたほどでした。12月には本校でもインフルエンザが流行し、学級閉鎖も出ましたが、年明けの今朝には、みんな笑顔で元気に登校してくる子どもたちの姿に、幸せを感じました。本年も子どもたちの成長を、保護者の皆様、地域の皆様とともに、注視（子年🐶だけにチュウシ）していきたいと思ひます。

胸高鳴るオリンピックイヤー

平成から令和に改元した2019年、祝賀ムードに沸いた一方で、台風等の自然災害、鉄道・自動車事故が頻発し、それらの多くは神奈川県内で起き、悲しみに包まれました。でも「ワンチーム」を掲げたラグビーワールドカップ日本代表は、横浜国際総合競技場で史上初の決勝トーナメント進出を決め、スポーツを通して、応援している私たちに勇気と感動を与えてくれました。

さあ、いよいよ今年は、日本でオリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピックでは、ここ横浜の国際総合競技場が、サッカーの会場、藤沢市の江の島沖が、セーリング競技の会場となります。横浜スタジアムでは、野球・ソフトボールが行われ、相模原市と山北町を自転車競技の選手が走り抜けます。胸が高鳴る国際スポーツの祭典が始まります。本当に楽しみです。

さて、このオリンピック・パラリンピックの会場である東京や神奈川県、そして、横浜での開催を機に、観戦や応援を通して、学校教育として子どもたちに感じてほしいこと体験してほしいことは、何かと考えました。限りない可能性を秘めた子どもたちですので、各スポーツのすばらしさを知り、4年、8年、12年後、、、のオリンピックに出場するアスリートになる夢をもつのもよいと思ひますが、勝負の勝敗や記録の更新だけでなく、これから、グローバル社会に生きていく子どもたちに、他国との国際交流意識、コミュニケーション能力が育てられればと思ひます。横浜の教育もグローバル社会に向けて、知・徳・体・公・開の5つに力を入れています。開かれた学校から、一人一人の開かれた心に、誰とでも分かり合える、認め合える、学び合える人権感覚を子どもたちと教職員も磨いていきたいと思ひます。

そして全校の子どもたちが、それぞれ4月の年度初めに立てた目標と行動を振り返り、見直して、気持ちを新たに自分の目標をもっていろいろなことに挑戦して欲しいです。夢や希望、目標をもってそれに向かって進んでいく釜南っ子を今年も全教職員で応援していきます。

また、昨年度より掲げている合言葉の「一丸！チーム釜南小」は、学校だより以前に書いた「ワンチーム」と同じです。主役は子どもたちですが、保護者の皆様、地域の皆様、全教職員で創るワンチームです。今後とも子供の成長ファーストで、本校教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

